
RainとCandy

海棠 朔

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

R a i nとC a n d y

【Nコード】

N 6 2 8 0 T

【作者名】

海棠 朔

【あらすじ】

雨と飴。平仮名にすると同じ二文字なんだけど、全然違うものなんだ。

でも、僕はどっちも好き。

どっちも好きなんだ。

（前書き）

前書きのほうが本文より長くなってしまつのではないかと心配です
（笑）

本当に適當すぎる感じで作つたんですが…梅雨の雨を見ながら感じた事を詩（違つかもしれない）にしました。
一応、口語自由詩という位置付けで。

本文は適當に頭から出た言葉を繋げたんですが、タイトルの「と」にはこだわりがあります。「&」じゃ駄目だったんです。
理由？なんとなくです。

ちなみに一応はじめての「海棠 朔」としての投稿です。

ああ、雨が降っている

嬉しいな。

ああ、飴が降っている

それも嬉しいな。

なんで雨が降るのが嬉しいかって？

僕はしとしと降る雨の下で誰も知らないストーリーを考えるのが好きだからさ。

なんで飴が降るのが嬉しいかって？

僕はストーリーを考えながら甘いものを食べるのが好きだからさ。

毎日雨。毎日飴。毎日雨。毎日飴。

ああ、梅雨の時期は雨だけで寂しいな。飴も降ればいいのに。

あーあ、今日は台風の豪雨だ。しとしとした雨が嬉しいのに。

僕は呟いた。

「雨と飴が一緒にあればなんて良いんだろう。」

その時、空を見上げれば見えるだろう。

ほら、雨粒が静かに飴に変わるよ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6280t/>

RainとCandy

2011年5月28日23時21分発行